



## 特集展示「祝 俵万智氏 迢空賞受賞」

俵万智氏の第6歌集『未来のサイズ』が、第55回迢空賞に選ばれました。本作は、第36回詩歌文学館賞(短歌部門)にも選出されており、ダブル受賞となりました。

迢空賞は歌人・釈迢空(1887~1953)の名前を冠した賞で、短歌界では最も権威ある賞とされています。受賞を記念し、俵万智氏や受賞作について紹介します。

### ◆ 展示資料一覧

期間：2021年5月28日(金)～7月14日(水)

項番	作家名	種別	資料名	発行年	発行者等
1	俵万智	書籍	『未来のサイズ』(迢空賞受賞)	2020年	角川文化振興財団
2	俵万智	自筆資料	「感染者二桁に減り良いほうのニュースにカウントされる人たち」色紙(5月28日～6月23日)	2021年	—
3	俵万智	自筆資料	「第二波の予感の中に暮らせどもサーフボードを持たぬ人類」色紙(6月25日～7月14日)	2021年	—
4	—	雑誌	『短歌』6月号	2021年	角川文化振興財団
5	俵万智	書籍	『サラダ記念日』(現代歌人協会賞受賞)	1987年	河出書房新社
6	俵万智	書籍	『愛する源氏物語』(紫式部文学賞受賞)	2003年	文藝春秋
7	俵万智	書籍	『プーさんの鼻』(若山牧水賞受賞)	2005年	文藝春秋



### 俵万智

1962年大阪府生まれ。14歳で武生市(現・越前市)に移住。藤島高校を経て、早稲田大学第一文学部に進む。大学の恩師の影響で作歌を始め、1987年に第1歌集『サラダ記念日』を出版。その新しい感覚の作品が話題を呼び、空前のベストセラーとなった。第6歌集『未来のサイズ』では、コロナ禍での暮らしを詠い、新境地を拓いた。短歌、小説、評論など幅広い執筆活動を行っている。

